

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本フェルト株式会社  
 コード番号 3512 URL <http://www.felt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

(氏名) 大山 芳男  
 (氏名) 青柳 正俊  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5993-2030  
 平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,347	△20.5	224	△66.6	263	△66.9	120	△72.5
21年3月期第2四半期	6,725	—	671	—	794	—	437	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6.06	—
21年3月期第2四半期	21.49	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,082	13,125	63.9	646.37
21年3月期	20,930	13,068	61.1	644.17

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,825百万円 21年3月期 12,782百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	△14.5	400	△48.5	500	△45.4	250	△59.2	12.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,842,459株 21年3月期 23,342,459株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 999,894株 21年3月期 3,499,776株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 19,842,622株 21年3月期第2四半期 20,335,748株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年7月30日「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想を本資料にて修正しております。なお、当該予想数値の修正につきましては、通期の個別業績予想の修正を含め、本日(平成21年10月30日)「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年度後半以降の急激な落ち込みから持ち直しの動きが見られるものの、円高の進行、設備投資の減少、雇用情勢の悪化などが景気回復の足枷となり、引き続き厳しい状況で推移致しました。

当社グループの主要な得意先であります紙・パルプ産業は、コスト削減などによる収益の改善に取り組んでおりますが、需要が停滞するなか、生産調整を継続するなど厳しい経営環境にあります。

このような状況におきまして、当社グループは新製品の開発、品質の向上、国内市場のシェア確保、アジア市場への拡販など積極的な営業活動と技術サービスに努めてまいりました。

その結果、国内紙パルプ用フェルトにおいては高いシェア水準を維持できたものの、国内外ともに需要低迷の影響が大きく、海外においては円高も加わり、売上高は5,347百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

四半期純利益につきましては、徹底したコストダウンと生産性向上等に取り組んでまいりましたが、売上高の減少をカバーできず、120百万円（前年同期比72.5%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ847百万円減少しております。これは、現金及び預金が222百万円、受取手形及び売掛金が345百万円減少したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ905百万円減少しております。これは、支払手形及び買掛金が238百万円、短期借入金が637百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ57百万円増加しております。これは、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.9%となり、前連結会計年度末に比べ2.8ポイント上昇しました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し2,271百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は754百万円（前年同期は935百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が225百万円、減価償却費が466百万円、売上債権の減少が357百万円となった一方、法人税等の支払が145百万円、仕入債務の減少が239百万円となったことなどによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、58百万円の収入（前年同期は129百万円の支出）となりました。これは、定期預金の払戻による収入が155百万円となった一方、有形固定資産の取得による支出が110百万円あったことなどによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、885百万円の支出（前年同期は227百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純減少が645百万円、配当金の支払が178百万円あったことなどによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年7月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、別途開示しております「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税の納付税額の算出に当たり加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する簡便な処理によって計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が認められない場合、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められない場合には、前連結会計年度末において検討に使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等の著しい変化が認められた場合、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において検討に使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②固定資産の減価償却の算定方法について定率法を採用している資産については連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は、平成21年6月26日開催の株主総会において、取締役及び監査役の退職慰労金制度を廃止し、本総会までの在任期間に対応する退職慰労金を打切り支給することを決議致しました。当社は、役員の退職慰労金支給に備えるため、当社の基準に基づく期末要支給額の全額を引当て計上しており、また、退職慰労金の打切り支給の時期が各役員それぞれの退任時に予定されていることから、本総会日までの役員退職慰労引当金を未払金に振り替えており、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において「固定負債」「長期未払金」に178,600千円含んでおります。

なお、国内連結子会社2社については、引き続き役員退職慰労金制度を継続しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,584,811	2,806,914
受取手形及び売掛金	4,790,069	5,135,790
リース投資資産	14,338	14,055
有価証券	2,374	2,252
商品及び製品	1,074,509	1,131,493
仕掛品	941,506	1,037,441
原材料及び貯蔵品	565,340	605,796
繰延税金資産	241,765	269,645
その他	77,917	47,391
貸倒引当金	△48,232	△46,059
流動資産合計	10,244,401	11,004,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,332,304	1,370,363
機械装置及び運搬具（純額）	2,181,795	2,421,413
工具、器具及び備品（純額）	144,304	168,600
土地	859,652	858,331
リース資産（純額）	225,415	54,941
建設仮勘定	7,680	8,933
有形固定資産合計	4,751,153	4,882,584
無形固定資産		
ソフトウェア	26,358	31,344
リース資産	56,352	65,533
その他	7,404	7,404
無形固定資産合計	90,114	104,281
投資その他の資産		
投資有価証券	4,366,102	4,286,209
長期貸付金	877	642
繰延税金資産	77,031	75,331
リース投資資産	293,844	301,085
その他	301,906	319,340
貸倒引当金	△43,393	△44,163
投資その他の資産合計	4,996,368	4,938,446
固定資産合計	9,837,636	9,925,312
資産合計	20,082,037	20,930,032

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	576,540	814,744
短期借入金	3,072,220	3,710,080
リース債務	104,390	47,117
未払法人税等	78,354	146,249
役員賞与引当金	16,235	31,422
その他	1,288,346	1,434,832
流動負債合計	5,136,086	6,184,445
固定負債		
リース債務	177,377	73,357
長期未払金	195,707	20,579
繰延税金負債	137,276	97,035
退職給付引当金	1,104,002	1,033,434
役員退職慰労引当金	3,948	241,700
受入保証金	202,320	211,371
固定負債合計	1,820,632	1,677,477
負債合計	6,956,719	7,861,923
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,435,425	2,435,425
資本剰余金	1,487,838	1,487,838
利益剰余金	9,185,471	10,677,614
自己株式	△573,420	△2,007,116
株主資本合計	12,535,315	12,593,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	730,608	662,595
為替換算調整勘定	△440,260	△474,324
評価・換算差額等合計	290,347	188,271
少数株主持分	299,656	286,075
純資産合計	13,125,318	13,068,108
負債純資産合計	20,082,037	20,930,032

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,725,199	5,347,272
売上原価	4,545,802	3,750,009
売上総利益	2,179,396	1,597,262
販売費及び一般管理費		
役員報酬	116,673	115,006
給料手当及び賞与	567,629	466,132
貸倒引当金繰入額	8,769	1,916
退職給付費用	17,804	59,518
役員退職慰労引当金繰入額	21,350	9,348
役員賞与引当金繰入額	17,500	16,235
その他	757,677	704,782
販売費及び一般管理費合計	1,507,403	1,372,939
営業利益	671,993	224,323
営業外収益		
受取利息	8,184	7,278
受取配当金	102,829	69,295
受取賃貸料	172,726	148,367
助成金収入	—	73,360
その他	28,272	5,879
営業外収益合計	312,013	304,181
営業外費用		
支払利息	30,697	23,264
賃貸費用	50,256	48,266
休業手当	—	131,252
その他	108,318	62,491
営業外費用合計	189,272	265,275
経常利益	794,734	263,228
特別利益		
投資有価証券売却益	53,322	—
特別利益合計	53,322	—
特別損失		
固定資産除売却損	6,347	1,116
投資有価証券評価損	83,310	36,555
特別損失合計	89,658	37,672
税金等調整前四半期純利益	758,398	225,555
法人税、住民税及び事業税	311,927	77,304
法人税等調整額	5,381	24,663
法人税等合計	317,309	101,967
少数株主利益	4,060	3,401
四半期純利益	437,028	120,186

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	758,398	225,555
減価償却費	578,817	466,346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,792	1,282
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,247	△15,199
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,102	57,750
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,250	△237,752
受取利息及び受取配当金	△111,014	△76,573
支払利息	30,697	23,264
固定資産除売却損益 (△は益)	3,501	140
投資有価証券売却損益 (△は益)	△53,322	—
売上債権の増減額 (△は増加)	55,626	357,319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△136,758	208,102
仕入債務の増減額 (△は減少)	△36,208	△239,350
その他	△22,446	73,599
小計	1,052,397	844,487
利息及び配当金の受取額	118,039	78,493
利息の支払額	△32,257	△23,261
法人税等の支払額	△202,974	△145,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	935,205	754,256
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△52,000	△4,000
定期預金の払戻による収入	12,000	155,000
有形固定資産の取得による支出	△173,804	△110,615
無形固定資産の取得による支出	△5,454	—
投資有価証券の取得による支出	△1,223	△1,436
投資有価証券の売却による収入	68,479	—
その他	22,862	19,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,141	58,230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,900	△645,440
自己株式の取得による支出	—	△49
配当金の支払額	△183,021	△178,584
少数株主への配当金の支払額	△8,763	△6,176
その他	△52,927	△55,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,813	△885,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△531	1,935
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	577,719	△71,102
現金及び現金同等物の期首残高	1,208,058	2,342,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,785,777	2,271,811

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、紙・パルプ用フェルトを中心とした各種工業用フェルトの製造、販売を主事業としている専門メーカーであり、一セグメントの売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	991,330千円	42,524千円	1,033,854千円
II 連結売上高			6,725,199千円
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	14.7%	0.6%	15.4%

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・中国・インドネシア・韓国

(2) その他の地域……………カナダ・アメリカ

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	820,348千円	14,826千円	835,174千円
II 連結売上高			5,347,272千円
III 海外売上高の連結売上高に占める割合	15.3%	0.3%	15.6%

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・中国・インドネシア・韓国

(2) その他の地域……………カナダ

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

①自己株式の消却

当社は、平成21年5月25日開催の取締役会決議に基づき、平成21年6月3日に自己株式2,500,000株を消却致しました。これにより資本剰余金が1,433,744千円減少しております。

②利益剰余金から資本剰余金への補てん

当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金から資本剰余金に1,433,744千円を補てん致しました。